

令和4年度 国語「国語表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	3学年選択者
教科書	『国語表現』東京書籍	副教材等	

1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	○調べる・取材する・発表する	・情報収集や他者への取材を通し、自身の長所や本年の目標を考え、発表する。	○情報収集の技術を身につける。 ○自らの思いをきちんと伝えられるように言葉を選び、発表する。 ○他の生徒の発表を聞く際の姿勢に気を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ワークシート ・提出物
5	○古典の表現に学ぶ	・読み手を意識した自己表現をする。	○読み手を意識し、独りよがりな文章にならないように留意して書く。 ○自分の作品と周りの作品と比べ、相互に鑑賞する。	
6	○話す	・自身の考えや思いを声で表現する。	○聞き手を意識し、聞き取りやすい話し方について考える。 ○話の構成に留意して、聞き手が理解しやすい話をする。 ○敬語の基本的な知識を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
7	○漢字学習	・漢字の知識を身につける。	○漢字の学習をする。	
9	○課題文型小論文を書く	・課題に対する自分の考えを800～1200字で書く。	○課題文の論旨を適切に理解し、批判的に検討して自らの考えを広げる。 ○課題文の筆者の意見に対する自分の考えを明確にする。 ○自分の考えが読み手に伝わるよう、論理的な表現で小論文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
10	○漢字学習	・漢字の知識を身につける。	○漢字の学習をする。	

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11 12	○広告の表現に学ぶ ○漢字学習	・自身でテーマを決定し広告を作成する。 ・漢字の知識を身につける。	○不特定多数の人に通ずる文章を書けるよう努力をする。 ○広告の表現技術について学ぶ。 ○広告の効果的な表現方法について考える。 ○他の生徒が作成した広告を鑑賞し、評価する。 ○漢字の学習をする。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物
1	○討論する ○漢字学習	・グループに分かれ、ディベートに向けての論題を決める。 ・論題について調べる。 ・ディベートを行う。 ・漢字の知識を身につける。	○様々な情報収集ツールを駆使して、情報をできるだけ多く集める。 ○主張の根拠となる事柄を集めるよう心掛ける。 ○自分たちの主張の理由や根拠をまとめる。 ○相手の反論を予測し、それに対する反論を考える。 ○主張の仕方を決め、討論に向けて練習を行う。 ○討論会を開く。 ○漢字の学習をする。	・観察 ・発言・発表 ・小テスト ・ワークシート ・提出物

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の5項目で総合的に評価する。主に、授業態度、発言、提出物、小テストで評価する。

5 担当者からのメッセージ

この科目は、国語の中でも「話すこと・聞くこと」に重きを置いた科目である。自ら進んで意見を述べることを求めます。苦手であってもできるだけ周囲との意見交換を心がけてください。普段の授業や提出物を大切にしてください。

令和4年度 国語「現代文B」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	3学年全クラス
教科書	「高等学校 改訂版 標準現代文B」 第一学習社	副教材等	『プレミアムカラー国語便覧』数研出版 『級別漢字学習7級～2級』とうほう 『現代新国語辞典改訂第六版』学研

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	随想「記憶のゆがみ」	・随想を読み、筆者の意図などを的確に読み取る。	・本文の理解を通じて、人間の記憶や理解の仕方について作者の考えを読み取る。	行動観察 ワークシート
	小説「話を聞かせて」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。	・登場人物の心情の推移を的確にとらえ、ストーリーの展開を味わう。	行動観察 ワークシート
5	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。 中間考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
	6	評論「マジ？」	・評論文を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえて、その論理性を評価する。	・言葉の意味の違いについて書かれた文章を読み、論理の展開や要旨をとらえ、筆者の物の見方や考え方を追究する。
7	詩「食事」「ころ」	・韻文に触れ、独特の表現形式の工夫やリズムについて考える。	・詩を声に出して読み、情景や心情をとらえ、言葉のリズムを味わう。	行動観察 レポート
	7	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。 期末考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。
9	小説「山月記」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。	・登場人物の心情を叙述に即して的確にとらえ、優れた人物描写、情景描写を味わう。	行動観察 ワークシート
	随想「食と想像力」	・随想を読み、筆者の意図や表現の工夫を的確に読み取る。	・身近な事象から海外における実態についての文章を読み、日本とタイという比較における作者の考えを読み取る。	行動観察 ワークシート
10	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。 中間考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11	評論「経験の教えについて」	・評論文を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえて、その論理性を評価する。	・「経験から学ぶ」ということについて書かれた文章を読み、論理の展開や要旨をとらえ、筆者の物の見方や考え方を追究する。	行動観察 ワークシート
	短歌と俳句「折々の歌」	・短歌や俳句を読み、楽しみつつ、日本の詩歌の豊かさを理解する。	・短歌と俳句を鑑賞して、作者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	行動観察 ワークシート
12	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。 期末考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト
1	小説「煙草と悪魔」	・小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に読み取る。	・登場人物の心情の推移を的確にとらえ、ストーリーの展開を味わう。	行動観察 ワークシート
	常用漢字の学習	・漢字についての知識を広める。 期末考査	・漢字を書く習慣をつける。 ・主な常用漢字の読み書きをできるようにする。	ワークシート 小テスト

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているか。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているか。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけているか。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「知識・理解」の5観点から評価規準に従い、総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業をうけるに当たって守って欲しい事項など)

この科目では、近代以降の様々な文章に触れながら、1年間の学習を通して学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などをよく聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加して下さい。評価については、5つの観点で行います。普段の授業の1時間1時間を大切にして下さい。なお、授業だけでなく、活字に触れることが国語の力を向上させるには不可欠です。できるかぎり多くの文章に触れるようにしましょう。

令和4年度 国語「古典B」シラバス

	2単位	学科・学年・学級	3学年全クラス
教科書	『新編古典B 改訂版』大修館書店	副教材等	『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版) 『古典文法クリアノート』(尚文社) 『全訳古語辞典 改訂版』(ベネッセ)

1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかる態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	知恵の働き—説話	『宇治拾遺物語』 「十二の「子」文字」	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、おもしろさを理解しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
5	女性の視点—日記	『紫式部日記』 「和泉式部と清少納言」	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、他者に対する思想や感情を捉えようとする。	
6	人間の本質—儒家の思想 理想の人間像	『君子食無求飽』 『質勝文則野』 『子路問君子』 『居天下之広居』 中間考査	○漢文訓読を習熟する。 ○話の流れを把握し、表現や構成、孔子の思想を理解する。	
7	歴史物語 『大鏡』 「競べ弓」 『三国志』 「水魚の交わり」 「劉備の死」	<ul style="list-style-type: none"> ・品詞分解 ・現代語訳 ・語句の意味 <ul style="list-style-type: none"> ・訓読・漢詩のきまり ・語句の意味・用法 ・書き下し文 ・口語訳 期末考査	○古典に用いられている文法や語句の意味を理解する。 ○話の筋を理解し、自然に対する思想や感情を捉えようとする。 ○漢文訓読を習熟する。 ○話の流れを把握し、表現や構成、歴史的背景を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
9	愛の始まり—物語	『源氏物語』 「若紫」	○古典の文法などについて理解する。 ○敬語表現について理解する。 ○それぞれの人物のものの見方を理解し、鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート
10	説得の技—逸話	『不死之薬』 『先従隗始』 中間考査	○漢文訓読に習熟しているか。 ○物語の筋を正確に理解し、巧みな表現を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言・発表 ・ノート ・ワークシート

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
11	自然と人生—俳諧	『去来抄』 「行く春を」	○古典の文法などについて理解する。 ○それぞれの人物のものの見方を理解し、鑑賞する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート
12	生きる知恵— 道家・法家の思想	『無為而無不為』 『小国寡民』 期末考査	○漢文訓読を習熟する。 ○作品に描かれている自然観や人生観を理解する。 ○物語の筋を理解し、表現の巧みさを鑑賞する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート
1	家族を思う—物語	『大和物語』 「をばすて」 期末考査	○古典の文法などについて理解する。 ○話の流れを理解し、家族観について理解する。	・観察 ・発表・発言 ・ノート ・ワークシート

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話すこと・聞くこと	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴のきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の5観点から総合的に評価する。主に、定期テスト、小テスト、提出物による評価である。

5 担当者からのメッセージ

この科目は、昨年度の『古典B』の発展分野として、日本や中国の古典作品を学習していく科目です。昨年度に学習した内容を踏まえながら引き続き日本で有名な作品を学習していきます。古典Bを学習していく中で日本の伝統的な文化に触れ、少しでも古典に興味・関心をもっていただくと嬉しいです。この科目では読むことと書くことを中心に活動をしていきます。

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科3年
教科書	高等学校日本史A新訂版	副教材等	

1 学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	私たちの時代と歴史 近代の日本と世界 1 国際環境の変化と幕藩体制の動揺	(1)時代区分について (1)19世紀の世界とアジア (2)外国船の来航と海防策 (3)新しい学問と思想 (4)社会の変化と農民の動向 (5)幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	科目の導入として、近代・現代などの時代区分の持つ意味について理解する。 幕藩体制下の政治・経緯基盤、身分制度の形成や対外関係の特色に注目して、社会の仕組みについて考察する。 農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解など構造的変化の中で動揺していく過程を、欧米諸国のアジア進出やそれへの対応と関連付けて考察する。	授業への参加度やワークシート分析 資料の作成 レポートの作成 小テスト 中間考査
	5	2 明治維新と近代国家の形成	(1)ペリー来航と日米和親条約 (2)通商条約の締結と安政の大獄 (3)貿易の影響と尊王攘夷 (4)倒幕運動の展開 (5)幕府の滅亡と新政府の成立 (6)近代国家の成立と国民の誕生 (7)地租改正と殖産興業 中間考査	欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で開国した日本で、天皇を中心とする統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や討幕運動などの動きを経て明治維新に至った過程を国際情勢と関連させて考察する。 明治政府が制度改革を推進して富国強兵・殖産興業政策を進めた背景を考察する。	授業への参加度やワークシート分析 資料の読み取り 中間考査 レポートの作成
	6	3 立憲政体の成立と国際的地位の向上	(8)文明開化 (9)明治初期の国際関係 (10)国境の画定と北海道開拓 (11)不平士族の反乱と日朝修好条規 (1)自由民権運動と政党の結成 (2)松方財政と民権運動の激化 (3)立憲体制の確立 (4)初期議会と条約改正	日本の国際的地位を向上させるための対外政策や、日本の領土が国際的に画定されたことを考察する。 不平士族による明治政府への反乱がもたらした影響を考察する。 藩閥政府に対して自由民権運動が展開して国民の間に政治的関心が高まる中、政府による準備が進められて大日本帝国憲法が制定される経緯や内容の特色を考察する。 日本が不平等な立場を脱却したことの意義とその背景にある東アジアにおける国際情勢に留意する。	授業への参加度やワークシート分析 資料の読み取り 期末考査 レポートの作成 小テスト
	7		(5)日清戦争 (6)日清戦争後の政治と日英同盟 期末考査	日清戦争前後の対外関係の変化、政党の役割に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察する。	
	9		(7)日露戦争 (8)ポーツマス条約と満州・樺太 (9)韓国の植民地化 (10)近代産業の発展 (11)社会問題の発生と政府の対応 (12)明治の思想・学問・文化	国際的地位を高めた日本が、勢力を拡張し、植民地支配を進めたことがもたらした対外関係の変化について考察する。 日清戦争以前の製糸・紡績など輸出関連の軽工業部門から産業革命が展開したことや、日清・日露戦争による軍需が近代産業成立の核になったことに着目し、経済と対外政策との関連を考察する。また、都市における貧民問題や労働問題、社会運動の発生について理解する。 近代文化の特色とその成立の背景について考察する。	授業への参加度やワークシート分析 資料の読み取り 小テスト 中間考査 レポートの作成
	10	大戦期の世界と日本 1 第一次世界大戦と日本	(1)護憲運動と大正デモクラシー (2)第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 (3)大戦景気と米騒動 (4)政党内閣の成立と戦後恐慌	政党の役割と社会的な基盤に着目して、政党政治の推移について考察する。 第一次世界大戦前後の国際情勢に着目して、国内外の動向を考察する。また、日本の経済発展に与えた影響を考察する。	授業への参加度やワークシート分析 資料の読み取り 小テスト 中間考査 レポートの作成

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	
第2学期			(5)ヴェルサイユ体制 (6)国際連盟の成立とワシントン体制 中間考査	中国・朝鮮における民族運動の高揚、国際的な協調体制の成立などに着目して、国内外の動向を考察する。	
			(7)社会運動の高まり (8)関東大震災と政党内閣の時代	知識層・中間層の増加、デモクラシーの風潮の高まりなどの時代背景を重視し、社会運動の高まりや二大政党制による政党内閣制の意義について考察する。	
	11	2 第二次世界大戦と日本	(9)大衆文化の成立 (1)金融恐慌と外交政策 (2)世界恐慌と昭和恐慌 (3)満州事変と国連脱退 (4)二・二六事件と日中戦争 (5)第二次世界大戦と日本 (6)日独伊三国同盟と日米の対立 (7)アジア太平洋戦争(太平洋戦争)の勃発 (8)日本占領下のアジア	経済の発展や思想の動向、教育の普及などに見られる時代の動きに着目して、マスメディアの発達を通じて大衆社会の基盤が形成され大衆文化が発展したことを考察する。 世界恐慌による資本主義諸国の経済危機と保護貿易主義への動き、全体主義の台頭による国際関係の変化と協調関係の崩壊に着目して、日本をめぐる内外情勢の変動について考察する。 中国との戦争の長期化及び国際関係の悪化、戦時体制の強化の動きに着目し、日本で全体主義的な国家体制が進展し、米英諸国との戦争に拡大した過程を考察する。 日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたことに着目する。	授業への参加度やワークシート分析 ビデオ視聴 レポート 小テスト 期末考査
	12		(9)戦時下の国民生活 (10)日本の敗戦 期末考査	日本各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下をはじめ空前の戦禍を被ったことに着目する。	
第3学期	1	現代の世界と日本			授業への参加度やワークシート分析
		1 戦後政治の動向と国際社会	(1)占領と改革 (2)冷戦と占領政策の転換 (3)大戦後の国際情勢と日本の独立	占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、日本の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察する。	資料の読み取り 学年末考査 レポート
		2 経済の発展と国民生活の変化	(1)55年体制の成立 (2)高度経済成長 (3)安定成長から経済大国へ	戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。	
	3 現代の日本と世界	(1)冷戦の終結 (2)55年体制の崩壊 学年末考査	冷戦の終結を機とした国際貢献も含めて、日本が国際社会において果たしてきた役割を考察する。		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

授業に参加するに当たっては、ぜひ、意欲を持って臨んでください。授業に対する準備はもちろん、授業内容が多少難しくても「わかろうとする気持ち」が大切です。歴史は人が創り出してきた軌跡です。必ず理解することが出来ます。これから社会に出て行く高校生にとって、過去を知ることが未来に生きていくときの判断材料の一つになるに違いありません。頑張るって良い授業を創りましょう。

令和4年度 地理歴史科「戦後の歴史」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G組
教科書	『要説世界史 改訂版』(山川出版社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	・現代社会の諸問題 ・ロシアとウクライナの歴史と相克	・ロシアとウクライナの諸問題 ・現代社会の問題に関するキーワード	・ロシア・ウクライナの問題や現代社会の諸問題について把握し、基本的知識を身に付ける。 ・現代社会の諸問題に対する関心を高め意欲的に追究する。 ・ロシアとウクライナの戦争を初めとする現代社会の諸問題を考察し、表現することができる(レポート)	行動観察 レポート ノート 小テスト
5				
6	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	1 革命の時代の到来 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	・産業革命、フランス革命、アメリカ独立革命となぜ発生したのか関心を高め意欲的に追究する。 ・諸革命について考察し歴史的意義を判断する。 ・諸革命と国民形成に関する資料を活用し、追究考察した過程や課題を適切に表現する。	
	中間考査	教科書 80～87ページ		
7		2 自由主義と国民主義の進展 ・ヨーロッパ市民社会の成立 ・ヨーロッパ諸国の再編 ・アメリカ大陸の動向 ・19世紀の欧米文化	・アメリカ独立革命とフランス革命について基本的知識を身に付け、その歴史的意義について考察する。 ・19世紀前半に成立したウィーン体制とはどのような国際秩序だったのか関心をもち意欲的に追究する。 ・資本主義の確立と国民形成について考察し、歴史的意義を判断する。 ・資料を活用するとともに、資本主義の確立と国民形成について過程結果を適切に表現する。 ・19世紀の欧米文化について基本的知識を身に付けている。	行動観察 レポート ノート 小テスト
	期末考査	教科書 88～106ページ		
	考査返却			
9	第4章 アジア諸国の変貌	1 オスマン帝国の動揺と民族の自覚 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの変容と日本の動向	・オスマン帝国の情勢がどのように変化したのか関心をもち、意欲的に追究する。 ・イギリスをはじめとするアジア諸国の植民地化がどのように進んだのか、歴史的意義を判断する。 ・19世紀の世界の一体化とその特質に関する資料を活用するとともに追究考察し過程や結果を適切に表現する。 ・19世紀世界の特質について理解しその知識を見に付ける。	行動観察 レポート ノート 小テスト
10				
	第5章 世界戦争と平和	1 帝国主義の成立と列強の情勢 ・帝国主義の成立と大衆社会の到来 ・列強の国内情勢	・帝国主義時代にはどのような特色が見られるか関心をもち意欲的に追究する。 ・列強の国内情勢とアジア諸国への影響を理解し社会的特徴と歴史的意義を判断する。 ・資本輸出の地理的分布など、貿易活動に関わる資料を活用し過程や結果を適切に表現する。 ・19世紀世界の特質について理解し、その知識を身に付ける。	
	中間考査	教科書 107～118ページ		
11		2. 世界分割とアジア・アフリカ	・世界的規模で植民地化が進行したことに関心をもち、 ・世界分割の進行が列強間の対立をもたらすことに気付く。 ・地図を活用して世界分割を明らかにしている。 ・欧米列強による世界分割の展開を理解する。	行動観察 レポート ノート 小テスト
		3. 二つの世界大戦とその影響	・世界規模で行われた戦争について関心をもち学ぼうとする(行動観察)。 ・第一次世界大戦の特色を考え、アジアへの影響について気付き、	

12			二度の世界大戦について地図を有効に活用している。(テスト) ・第一次世界大戦の経緯とアメリカの役割について理解している	
	期末考査	教科書 120～145 ページ		
	考査返却			
1	第 6 章 三つの世界の形成	1. 冷戦期の世界と日本 2. アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題 3. 米ソ両大国の動揺	・東西対立について関心をもち学ぼうとする。冷戦時代の日本の関わりに関心をもつ。 ・第二次世界大戦の経緯と戦争の影響の大きさについて理解している。日本の民主化と経済成長のいきさつを理解している。 ・世界大戦後の諸民族の独立と課題について理解している。社会主義がなぜ動揺したかを理解している。 ・アメリカがベトナムから撤退した意義について理解している。	行動観察 レポート ノート 小テスト
2				
3				
	期末考査	教科書 156～184 ページ		
	考査返却			

3 評価の観点

関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。
資料活用の技能	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

よく歴史は暗記科目と言われます。確かに地名・人名などある程度の知識は必要となるでしょう。カタカナや漢字だらけの歴史の用語も教養として覚えなくてはなりません。

しかしながら、歴史とは人間の記憶であり、道程であります。歴史をなぞるだけなら一人でもできます。授業を通してみんなで「何故このような事件が起こったのか?」「もしもこんな出来事がなかったら世界はどう変わったか?」などと関連付けたり想像したり…とにかく一緒に考えることが肝要です。人類の進歩を示した事件、陰惨な事件、いいこともそうでないことも私たちは知らなくてはなりません。人類の歩みを仲間と追体験することで今後の人生に活かしていただきたいと思います。

・年に何回か出すレポートも重視します。

令和4年度 公民「現代社会」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～G組
教科書	高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社)	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。 現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する基礎を養う。 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 私たちの生きる社会	1章 環境と私たちの生活	1章 ・かけがえのない地球 ・地球環境のいま	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
5		2章 資源・エネルギー問題と私たちの生活	2章 ・私たちの地球を守るために ・限りある資源 ・資源問題の解決を目指して	
6		3章 科学技術の発達と私たちの生命	3章 ・科学技術の発達と生命 ・生命倫理をめぐる問題	
6	第2編 現代社会と人間としてのあり方、生き方	4章 高度情報社会と私たちの生活	4章 ・情報の高度化の進展 ・高度情報社会の課題	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
7		中間考査	教科書 p 4～22	
7	第2編 現代社会と人間としてのあり方、生き方	1章 青年期と自己の形成	1章 ・青年期とは ・青年期を充実させるために ・自立に向けて	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
7		2章 個人の尊重と法の支配	2章 ・個人と国家 ・世界の政治体制	
9		3章 現代の民主政治と政治参加への意義	3章 ・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障 ・冷戦終結後の防衛問題 ・平等に生きる権利と自由に生きる権利 ・豊かに生きる権利 ・新しい人権 ・基本的人権と公共の福祉	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
10		4章 国際政治の動向と日本の役割	4章 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・法と私たちの生活 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度の現状と課題 ・世論の形成と政治参加	
10		5章 現代の経済社会と私たちの生活	5章 ・核兵器の廃絶と国際平和 ・地域紛争と人種・民族問題 ・国境と領土問題 ・日本の役割と私たちの生き方	
10		4章 国際政治の動向と日本の役割	4章 ・国家主権と国際法 ・国際連合の役割 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・冷戦終結後の国際社会	行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
10		5章 現代の経済社会と私たちの生活	5章 ・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ	
10		5章 現代の経済社会と私たちの生活	5章 ・経済成長と景気の変動 ・財政のしくみと税金 ・金融機関のはたらき ・戦後日本経済のあゆみ	

11			<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の現状と展望 ・技術革新の進展と産業構造の変化 ・中小企業の現状と役割 ・食の安全とこれからの日本の農業 ・雇用と労働問題 ・労働環境の整備 ・公害の防止から環境保全へ ・消費者問題と消費者主義 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障と福祉社会 ・これからの社会保障 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
12		6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・国際経済の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ・進む地域的経済統合 ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際社会のこれから 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
		期末考査	教科書 p 94 ~ 150		
1		7章 民主社会に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人生を求めて ・日本の伝統的な考え方 ・近代の西洋社会に見られる考え方 ・近代市民社会から大衆社会へ ・他者とともに生きる ・豊かな社会の実現に向けて 		<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
	第3編 ともに生きる社会 をめざして	ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障と消費税 ・クジラは野生保護動物か、水産資源か ・人口問題と私たちの未来 		<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート分析 資料分析 レポート分析
		学年末考査	教科書 p 154 ~ 170		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度と平和を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の事柄の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
資料活用の技能	現代社会の基本的人権と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

忘れ物をしない。提出物の期限を守る。

令和4年度 公民科「倫理」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 選択Ⅲ・Ⅳ
教科書	高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)	副教材等	/

1 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	人間とは何か 青年期の課題と自己形成	青年期の意義と課題 他者との関わりの中で	<ul style="list-style-type: none"> 自己の体験や悩みを振り返ることを通して、現代社会における青年期の意義と課題を考察し、自己の在り方や生き方について思索を深める。 意見交流を通して、他者との関わりの中における自己の在り方生き方について思索を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート プリント記入 諸資料活用
5	人間としての自覚 ①古代ギリシア思想	神話、 ソクラテス プラトン アリストテレス 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ギリシア思想の流れを概観しながら、世界の捉え方について視野を広げるとともに、「善く生きる」ことについて考察し、自己の在り方生き方について思索を深める。 	中間考査
6	②一神教の考え	ユダヤ教 キリスト教 イスラム教	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教の根本を理解し、現代社会の在り方や自己の生き方について思索を深める。 イスラム教思想の根本を理解し、相互扶助など共同体の在り方や人間相互のつながりについて、現代社会や自己の課題と結びつけて思索を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート プリント記入 諸資料活用
7	③仏陀 ④徳と政治 中国思想	古代インド思想の形成 仏陀の思想 孔子の思想 孟子・荀子 道家 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の世界観や教えを手掛かりにして、人生における課題と結びつけながら自己の在り方生き方について思索を深める。 儒教の教えを手掛かりにして、望ましい人間関係の在り方や社会の在り方について、現代社会や自己の課題と結びつけて思索を深める。 	期末考査
9	国際社会に生きる日本人 ①日本の風土と自然観 ②仏教の受容と展開 ③国学と民衆の思想	日本人の宗教観・倫理観 最澄・空海 近世民衆の思想	<ul style="list-style-type: none"> 古代文献や伝統文化、年中行事などから日本人の心情やものの見方・考え方を考察し、風土との関わりについて理解する。 日本における仏教の展開について歴史的視点から理解を深め、日本文化や日本人の思想にどのような影響を与えたか、日常生活や伝統文化と結びつけながら考察する。 庶民が文化や思想の形成に影響を与えるようになっていった経緯やその思想を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート プリント記入 諸資料活用
10	④現代日本の思想 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳 ②近代の科学革命と自然観	個人と国家 中間考査 ルネサンス 宗教改革 ベーコン デカルト	<ul style="list-style-type: none"> 人間性の回復に努めたヒューマニストや人間の生き方について考察したモラリストの活動や思想を手掛かりにして、人間の尊厳について思索を深める。 人間性の回復に努めたヒューマニストや人間の生き方について考察したモラリストの活動や思想を手掛かりにして、人間の尊厳について思索を深める。 	中間考査
				<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート プリント記入 諸資料活用

11	③自由で平等な社会の実現 ④人間性の回復と主体性の確立 ⑤現代の思想と人間像 ⑥生命への畏敬と社会参加	社会契約説 カント・ヘーゲル 功利主義 社会主義 実存主義 近代的理性 正義と偏見	・民主社会の形成の基礎となった先哲の思想を手掛かりにして、個人と社会の関係や、個人と国家や法との関係について考察する ・資本主義経済の発展や科学技術の発展に伴う社会変化の中で登場した種々の近代思想を手掛かりにして、現代社会の在り方について再考察し、他者と社会とどのように主体的に関わりながら生きていくのか思索を深める。	
12		期末考査		期末考査
1	現代の諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題 ②環境の問題と倫理課題 ③家族・地域社会と倫理課題 ④情報社会と倫理課題 ⑤宗教・文化と倫理課題 ⑥国際平和と人類の福祉	・自己決定の尊重と末期医療 ・生物多様性と自然との共生 ・少子化 ・高齢化 ・情報リテラシー ・情報モラル ・信仰への理解 ・異文化理解と多文化共生 ・地球市民として ・平和な世界にむけて	・科学技術の発達や社会生活の変化、国際関係の変化によって生じた現代の倫理的課題について、既習の知識や収集した諸資料などを用いて考察を深め、社会の在り方や社会の一員おとしての自己の役割について思索を深める。 ・現代の倫理的課題のうち興味・関心をもって探究したいと思う項目を選択し、探究に必要な諸資料を収集してレポートをまとめ、発表する	・授業態度 ・発問評価 ・ノート ・プリント記入 ・諸資料活用 ・レポート作成
		学年末考査		学年末考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に授業に参加しているか、与えられた課題を進んで行っているか。
思考・判断・表現	自分の意見をもち、それをまとめられるか。
資料活用の技能	教科書、ノートを十分に活用しているか。
知識・理解	授業で学んだ知識を身に付けたかを確認します。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>倫理は生き方を学ぶ教科です。とても難しいイメージがありますがみなさんが考えやすい内容で授業をしていきます。よろしくお願ひします。授業を受けるにあたり、次のことを守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業の準備をしっかりと、忘れ物がないようにしてください。 ②授業に必要なものは持ち込まないでください。 ③提出物の提出期限を守ること。 ④自分の考えを積極的に書いてください。 <p>それでは、1年間よろしくお願ひします。</p>

令和4年度 数学科「数学Ⅲ」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A組 (選択)
教科書	高校数学Ⅲ (実教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

平面上の曲線と複素数平面・極限・微分法及び積分法について理解を深める。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	1章 関数とそのグラフ	1節 関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な分数関数や無理関数のグラフの特徴について学ぶ。 ・逆関数の意味を理解し、その求め方について学ぶ。 ・弧度法と三角関数の意味を理解し、グラフがかけるようになる。 	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
	2章 微分法	1節 導関数 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な関数の微分係数や導関数の求め方について学ぶ。 ・関数の積や商の微分法について学ぶ。 ・合成関数について理解し、その導関数の求め方について学ぶ。 教科書 p 14～43	ノート・観察 ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート
6		2節 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の導関数の求め方について学ぶ。 ・対数関数や指数関数の導関数の求め方について学ぶ。 ・高次導関数の意味を理解し、その求め方について学ぶ。 	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		3節 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の増減や極値、最大値や最小値の求め方を理解し、接線の方程式の求め方について学ぶ。 ・第2次導関数を用いて曲線の凹凸や変曲点を調べ、関数のグラフの概形をつかむ方法について学ぶ。 ・微分法を利用して、速度や加速度の求め方について学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート・観察
7	3章 積分法	1節 不定積分	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の基本的な性質を理解し、その求め方について学ぶ。 ・置換積分や部分積分を利用して、いろいろな関数の不定積分の求め方について学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		期末考査	教科書 p 44～80	
9 10		2節 定積分	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分の基本的な性質を理解し、その求め方について学ぶ。 ・置換積分や部分積分を利用して、いろいろな関数の定積分の求め方について学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		3節 定積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分を用いて基本的な図形の面積や体積、曲線の長さの求め方について学ぶ。 ・定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や体積、曲線の長さなどの求め方について学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
10	4章 極限	1節 数列の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の基本的な事項を理解し、その収束や発散について学ぶ。 ・数列の極限やその調べ方を理解し、その極限値の求め方を学ぶ。 ・無限等比級数の和を求める方法を学ぶ。 ・区分求積法の考え方を学ぶ。 	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察
		中間考査	教科書 p 81～124	

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
11	5章 平面上の曲線	2節 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な関数の極限値の求め方について学ぶ。 いろいろな関数の極限について学ぶ。 関数の連続性について学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート・観察
		1節 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな2次曲線の特徴を学ぶ。 2次曲線の式や曲線の概形をつかむ方法について学ぶ。 	ノート・観察 ノート・ワークシート
12	6章 複素数平面	2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 媒介変数表示の意味や、曲線が媒介変数を利用して表わされることを学ぶ。 極座標の考え方、直線や曲線が極方程式で表わされることを学ぶ。 	ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		期末考査	教科書 p 125～155	
1	6章 複素数平面	1節 複素数と複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の四則演算や複素数平面上の図示の仕方について学ぶ。 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和・差・積・商の図形的な意味について学ぶ。 ド・モアブルの定理について学ぶ。 	ノート・ワークシート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート
2		期末考査	教科書 p 156～174	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、考察の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>数学はいろいろな表現方法をとおして、理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図（教科書）をみれば、行き先がどちらかが分かります。道先案内人（教師や友達）に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけて、落ち着いて取り組むことです。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。</p> <p>数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢が重要です。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つひとつ乗り越えていきましょう。</p>

令和4年度 数学科「数学A」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G組 (数学A選択者)
教科書	改訂版 新 高校の数学A(数研出版)	副教材等	改訂版 ポイントノート数学A(数研出版)

1 学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 場合の数と確率	第1節 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を満たすものを集合の要素としてとらえることを学ぶ。 ・共通部分, 和集合, 空集合, 全体集合, 補集合について学ぶ。 ・ものを数え上げるのに集合を利用することを学ぶ。 ・補集合の要素の個数を求めることについて学ぶ。 ・ベン図を利用することで, 和集合の要素の個数を求めることができる。 ・表や樹形図などを用いて場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 ・和の法則・積の法則の利用場面を理解し, 事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 ・積の法則が, 既習の樹形図の特別な場合であることを理解できる。 	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		中間考査	教科書 p 6～22	小テスト ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
5			<ul style="list-style-type: none"> ・順列の公式を利用することができる。 ・簡単な場合の数を, 順列の考えを利用して求めることができる。 ・順列の総数を階乗の記号で表し, それを活用できる ・様々な場合の数を, 順列, 円順列, 重複順列に帰着させて求めることができる。 ・様々な場合の数を数えるのに, 順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 	小テスト ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
6			<ul style="list-style-type: none"> ・組合せの総数と順列の総数の関係を理解している。 ・組合せの公式を利用することができる。 ・簡単な場合の数を, 組合せの考えを利用して求めることができる。 ・組合せの性質を理解し, 公式を利用することができる。 ・様々な場合の数を, 組合せの考えを利用して求めることができる。 	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
7		第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場合の数を数えるのに, 組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・試行の結果の事象を集合として表すことができる。 ・確率の定義を理解し, 確率を求めることができる。 ・試行の結果を集合と結びつけて, 事柄の起こりやすさを数量的にとらえることができる。 ・確率の計算に集合を活用し, 確率を求めることができる。 ・排反事象の意味を理解し, 確率を求めることができる。 ・余事象の意味を理解し, 確率を求めることができる。 	小テスト ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		期末考査	教科書 p 23～39	
9			<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の確率を, 具体的な例から直観的に考えることができる。 ・反復試行の意味を理解し, 確率の求め方を組合せの考えと関連付けて理解できる。また, 公式を用いて反復試行の確率を求めることができる。 	ノート・観察 ノート・ワークシート
10			<ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率の定義を理解し, 確率を求めることができる。 ・確率の乗法定理を理解し, 確率を求めることができる。 	ノート・観察 ノート・ワークシート
	第2章	第1節 平面図形	教科書 p 40～51	ノート・観察 ノート・ワークシート
		中間考査	教科書 p 40～51	
			<ul style="list-style-type: none"> ・図形の基本性質を理解し, それらを用いて角の大きさや辺の長 	ノート・ワークシート

11	図形の性質		さを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺の長さを求めることができる。	ノート・ワークシート
12		期末考査	・外角の二等分線についても同様の定理が成り立つことに興味をもつ。	ノート・ワークシート
			・三角形の外心、内心、重心の性質を理解している。	ノート・ワークシート
1	第2節 空間図形	学年末テスト	・円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察できる。	ノート・ワークシート
			・円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・四角形が円に内接する条件を理解し、対角に着目して考察できる。	ノート・ワークシート
			教科書 p 5 2～7 1	小テスト
1			・接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。	ノート・ワークシート
			・接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・円の接線の長さが等しいことを理解し、線分の長さを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	ノート・ワークシート
			・2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。	ノート・ワークシート
			・作図の問題について、コンパスと定規を使って積極的に取り組もうとする。	小テスト
			・2直線の関係、2平面の関係、直線と平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解している。	ノート・ワークシート
			・空間の2直線のなす角の定義を理解し、角の大きさを求めることができる。	ノート・ワークシート
			・直線と平面が垂直になる条件を理解している。	ノート・ワークシート
			・正多面体が5種類あることを知っている。	ノート・ワークシート
			・正多面体が5種類しかないことに興味をもち、1つの頂点に集まる内角に着目して考察することができる。	ノート・ワークシート
			教科書 p 7 2～p 9 1	小テスト

3 評価の観点

関心・意欲・態度	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
思考・判断・表現	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>数学は理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図（教科書）をみれば、行き先がどちらかが分かりますし、道先案内人（教師や友達）に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけること。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。</p> <p>数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢も大切にしていきたいです。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つ一つ乗り越えていきましょう。</p>

令和4年度 理科「物理」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 ABC組、DE組
教科書	改訂版 物理 (数研出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。</p> <p>目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動	1 速度・加速度	・平面上の運動を扱うので，速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解し，慣れる。	行動観察
		2 落体の運動	・放物運動における速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分解し，定量的に理解する。	ワークシート分析
5	第2章 剛体 第3章 運動量の保存	1 剛体に働く力	・剛体は，力の大きさと向きのほか，作用線の位置により決まることを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト
		1 運動量と力積 ・運動量保存則 2 反発係数	・運動の法則から力積と運動量の関係が導かれ，これをもとに物体の衝突や分裂などの現象を扱う方法を学ぶ。 ・反発係数は衝突直後と直前における 2 物体の相対速度の大きさの比で表されることを学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析
6	第4章 円運動と万有引力	中間考査	教科書 p 6～5 4	
		1 等速円運動・慣性力	・等速円運動における「回転の速さ」は，円周にそった物体の速さ，角速度，回転数，周期などを用いて表されることを学ぶ。	ワークシート分析
		2 単振動	・等速円運動をする物体の直径方向への正射影が単振動であることを学ぶ。	ワークシート分析
7	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	3 万有引力	・ケプラーの法則と運動方程式とから万有引力の公式が得られることを，惑星の運動を等速円運動とみなした場合について導きだす過程を示す中で理解する。	ワークシート分析
		1 気体の法則	・ボイル・シャルルの法則から，理想気体の状態方程式が得られることを学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
		2 気体分子の運動	・気体分子の運動を力学的に扱って気体の圧力を表す式を学ぶ。この式と理想気体の状態方程式とから，気体分子の運動エネルギーの平均値が絶対温度に比例することを学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析 小テスト
9	第3編 波 第1章 波の伝わり方	3 気体の状態変化	・熱力学第一法則の式を用いて定積変化，定圧変化，等温変化，断熱変化を学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
		期末考査	教科書 p 5 4～1 2 1	
		1 正弦波	・振動が周囲の媒質に伝わると正弦波が生じることを学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
10	第2章 音の伝わり方	2 波の伝わり方	・波の反射・屈折・回折の現象を理解させ，ホイヘンスの原理を学ぶ。	ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析
		1 音の伝わり方	・音波は波としての諸性質，すなわち反射・屈折・回折・干渉の各現象を示すことを理解する。	ワークシート分析
	第3章 光	2 音のドップラー効果	・波源と観測者とが相対的に運動しているときには，観測者が受ける振動数は波源本来の振動数とは異なることを理解する。	ワークシート分析
		1 光の性質	・光にも反射・屈折の法則が成りたつことを理解する。	ワークシート分析
第4編 電気と磁気 第1章 電場	2 レンズ	・凸レンズと凹レンズの性質を学ぶ。	ワークシート分析	
	3 光の干渉と回折	・〈実験〉ヤングの実験 ・実験を通して干渉と回折について理解する。	ワークシート分析	
	1 静電気力	・原子核はプラスの，電子はマイナスの電気を帯びていることを再確認する。	ワークシート分析	
	2 電場・電位	・電荷のまわりのできる電場は，試験電荷にはたらく静電気力の大きさと向きにより定まるベクトルであることを学ぶ	ワークシート分析 実験レポート分析	
第4編 電気と磁気 第1章 電場	3 物質と電場	・電場の中に物体を置くと，物体の表面には電荷が現れるが，物体が導体か不導体かにより，現象が異なることを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト	
	4 コンデンサー	・電場と電位，電場内に置かれた導体や不導体のふるまいなど，既習事項と関連させながらコンデンサーを学ぶ。	ワークシート分析	

11	第2章 電流	1 オームの法則 2 直列回路 3 半導体 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 電流の向きと電流の大きさについてしっかり学ぶ 電流や電圧の意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解する。 抵抗率が導体と不導体の中間にある半導体について、電流が流れるしくみや特徴を学ぶ。 半導体ダイオードの原理や整流作用について示し、トランジスタについても学ぶ。 教科書 p 130～263	ワークシート分析 小テスト ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
	第3章 電流と磁場	1 磁場 2 電流が作る磁場 3 電流が磁場から受ける力 4 ローレンツ力	<ul style="list-style-type: none"> 磁石の性質を示し、点電荷のつくる電場と対比させながら、磁場について定義をし、さらに磁力線について学ぶ。 直線電流が周囲につくる磁場、円形電流が円の中心につくる磁場、ソレノイドがその内部につくる磁場について学ぶ。 電流が磁場から受ける力について学び、その力の向きをしっかりと理解する。 運動する荷電粒子が磁場から受ける力（ローレンツ力）について理解する。 磁場を横切る導線に生じる誘導起電力について学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析
	第4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 交流の発生 3 自己誘導と相互誘導 4 交流回路 5 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> 交流の発生のしくみを学び、交流の実効値の意味をしっかりと理解する。 コイルに流れる電流が変化すると誘導起電力が生じ、その大きさは電流の変化の速さに比例することを学ぶ。 抵抗に直列につないだコイルやコンデンサーに加わる電圧の位相について学ぶ。 電磁波の発生のしくみについて学ぶ。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
12	第5編 原子 第1章 電子と光	1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動性 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 陰極線を学び、陰極線の本体が電子であることを理解する。 光電効果の現象を定性的に学ぶ。 X線の発生について学び、X線の波動性から結晶構造をX線回折によって解析できることを理解する。 光の粒子性と対比しながら、電子に波動性があることを学ぶ。 教科書 p 266～356	行動観察 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
1	第2章 原子と原子核	1 原子の構造とエネルギー準位 2 原子核 3 放射線とその性質 4 核反応と核エネルギー 5 素粒子 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 様々な原子模型について説明し、水素原子のエネルギー準位を学ぶ。 原子核が陽子と中性子とからなること、また核力、同位体について学ぶ 不安定な原子核から放出される放射線には、おもにα線、β線、γ線の3種類があることを学ぶ。 原子力発電のしくみにもふれ、核融合反応によって大きなエネルギーが解放されることを学ぶ。 素粒子がハドロン、レプトン、ゲージ粒子の3種類に分類され、そのさらに細分化された分類まで学ぶ。 教科書 p 358～388	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を見返せるように、きちんとノートを取るようになしてください。 実験や観察、話し合いなどには積極的に参加してください。

単位数	3単位	学科・学年・学級	3年 FG組
教科書	改訂 新編化学	副教材等	なし

1 学習の到達目標

物質の状態変化、溶液の性質について理解できる。
 化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則を理解できる。
 無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できる。
 有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できる。
 高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できる。
 それぞれの内容を社会や日常生活と関連づけて考察することができる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1編 物質の状態 1章 物質の状態と変化	・状態変化 ・気体の性質	・物質の三態変化と、熱の出入りを学習する。 ・飽和蒸気圧と沸騰の関係を学ぶ。また、化学結合と物質の融点・沸点との関係を学習する。 ・ボイルの法則、シャルルの法則を理解する。 ・気体の状態方程式を理解する。 ・理想気体と実在の気体との違いを理解する。	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
	5	2章 溶液の性質	・溶解平衡 ・希薄溶液の性質 ・コロイド	・溶解のしくみと溶解度について学習する。 ・沸点上昇・凝固点降下について学習する。 ・コロイドを理解し、その性質を学習する。	
			中間考査		
	6	3章 固体の構造	・固体と結晶 ・結晶の構造	・化学結合と結晶の性質について、復習する。 ・金属結晶、イオン結晶、共有結晶、分子間の結合、および分子結晶の性質について学習する。	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
	7	第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 2章 電池と電気分解	・反応熱と熱化学方程式 ・ヘスの法則 ・電池 ・水溶液の電気分解	・ヘスの法則を理解する。 ・電池の原理とおもな電池の構成を学習する。 ・水溶液の電気分解を学習し、電気分解の利用として、電解精錬や溶融塩電解を学ぶ。	
			期末考査		
第2学期	9	第3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	・反応の速さ ・反応速度を変える条件 ・反応のしくみ	・反応の速さと濃度、圧力との関係を学習する。 ・反応の速さと温度との関係を学習する。 ・触媒の働きとその利用を学習する。	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
	10	2章 化学平衡 3章 電解質水溶液の平衡	・可逆反応と化学平衡 ・平衡の移動 ・電離平衡 ・水の電離平衡とpH ・塩と化学平衡	・ルシャトリエの原理を理解し、ルシャトリエの原理の応用例としてアンモニアの製法を学習する。 ・平衡定数の意味を学習する。 ・pHについての理解を深め、平衡定数の応用を学習する。	
			中間考査		
	11	第4編 無機物質 1章 非金属元素	・水素と希ガス ・ハロゲン・酸素・硫黄 ・窒素・リン ・炭素・ケイ素	・それぞれの元素の単体とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・実験、実習を中心に授業を行う。	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
	12	2章 典型金属元素 3章 遷移元素 4章 無機物質と人間生活	・アルカリ金属、2族元素 ・アルミニウム、亜鉛 ・スズ・鉛 ・遷移元素 ・金属イオンの分離 ・セラミックスの利用		
		期末考査			

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5編 有機化合物 1章 有機化合物の基礎 2章 脂肪族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 脂肪族炭化水素 有機化合物の分析 アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの有機化合物についてその構造的な特徴及び、性質や用途を学習する。 実験、実習を中心に授業を行う。 	行動観察 小テスト 実験レポート ワークシート
		3章 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 芳香族炭化水素 酸素、窒素を含む芳香族化合物 		
	2	4章 有機化合物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 染料、医薬品、合成洗剤、食品 		
		第6編 高分子化合物 1章 天然高分子	<ul style="list-style-type: none"> 糖類、アミノ酸、タンパク質 		
	3	2章 合成高分子	<ul style="list-style-type: none"> 合成繊維、プラスチック、ゴム 		
		3章 高分子化合物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 機能性高分子とプラスチックの処理 		
			学年末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

主体的に授業に参加しましょう。 実験・観察は積極的に取り組みましょう。

令和4年度 理科「生物」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～G組 生物選択者
教科書	スタンダード生物 (東京書籍)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。 2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。 3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに実験結果を多角的に捉え、自分の考えを他者に説明できるようにする。 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生命現象と物質 細胞と分子	1 生体物質と細胞	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の基礎である細胞がどのような物質でつくられ、どのような構造をもち、どのようなはたらきをするか学習する。 ・ゾウリムシなどを材料に、光学顕微鏡で細胞を観察する。 	行動観察 (授業態度・発問評価)
		2 細胞膜を介した物質の移動	<ul style="list-style-type: none"> ・物質輸送や情報伝達、細胞構造の維持などの生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて学習する。 	ワークシート
5		3 生命現象とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> ・ブタのレバーからカタラーゼを抽出して性質を調べる。 ・カタラーゼが過酸化水素を分解するしくみを理解する。 	実験レポート 中間テスト
6	代謝	1 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 	行動観察 (授業態度・発問評価)
7		2 同化 3 窒素同化 4 異化	<ul style="list-style-type: none"> ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 ・葉緑体と光合成の関係について、実験を行い、確認する。 ・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。 ・ミトコンドリアと葉緑体の起源について、共生説の考え方を理解する。 	ワークシート 実験レポート 授業ノート 期末テスト
9	生殖と発生 有性生殖	1 減数分裂と受精	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が同じ種を残すしくみを、細胞、染色体、遺伝子などのさまざまな視点から学習する。 	行動観察 (授業態度・発問評価)
10		2 遺伝子と染色体	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの対立遺伝子Aとa、Bとbが独立の場合、連鎖の場合、それぞれのF₂分離比をモデルと表を用い計算で求める。 	ワークシート 実験レポート
11	動物の発生	1 配偶子形成と受精	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の発生過程に伴う胚の変化と遺伝子発現について学ぶ。 	中間テスト
12		2 初期発生の過程 3 細胞の分化と形態形成	<ul style="list-style-type: none"> ・精子と卵子の特徴を理解する。 	
11	植物の環境応答	1 植物の環境応答と植物ホルモン	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の生殖器官である花から種子ができて、発芽し葉・茎が分化するしくみを学習する。 	行動観察 (授業態度・発問評価)
12		2 植物の環境応答とそのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の環境応答の実際とそのしくみについて学習する。 ・各植物ホルモンの特徴を理解する。 	ワークシート 実験レポート 授業ノート
12	動物の反応と行動	1 刺激の受容と反応	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が体内外の情報を得て反応を起こすしくみを学習する。 	期末テスト
		2 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの場合20～20000Hzであるように、動物ごとに受容できる聴覚の範囲が異なることを学ぶ。 ・動物のいろいろな行動とそのしくみについて学習する。 	

1	生物の進化と系統	1 進化のしくみ 2 生物の起源と生物の変換	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地球上にみられる多種多様な生物が、誕生後、どのような変遷をたどったか学習する。 ・過去5億年に5回起こったとされる大量絶滅の事実を学ぶ。 ・生物の分布などの証拠に支えられる大陸移動説について学ぶ。 ・生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて学習する。 ・自然選択説のダーウィンと中立説の木村資生について学ぶ。 ・生物の進化の道筋と、地球に生きる生物の多様性との関係性について学習する。 ・異なる種間での遺伝子の移動について学習する。 	行動観察 (授業態度・発問評価) ワークシート 実験レポート 授業ノート 学年末テスト
---	----------	---------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査、期末考査、平常点（出席、授業態度、発表、プリント・実験レポート等）から4観点に基づき総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>話をしっかりと聞いてください。</p> <p>実験・観察も行います。危険な薬品や器具を使う場合もありますので、指示をしっかりと聞き安全に授業を行えるようにしてください。</p>

令和4年度 理科『地学』シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・A～B組
教科書	地学 改訂版（啓林館）	副教材等	ニュースページ 新地学図表（浜島書店）

1. 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，観測的事実からその成り立ちを考え，基本となる地学の概念や原理・法則を理解し，科学的に探求する能力と態度を養う。

2. 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第4部 宇宙の構造 第1章 太陽系の天体	1 地球の運動 2 惑星の運動	<ul style="list-style-type: none"> 地球の自転や公転について，証拠をあげながら考える。 惑星の天球上での運動について，地動説に基づき考え，ケプラーの法則で示される惑星の公転運動を学ぶ。 太陽系に属する天体について，その概観や特徴を俯瞰し，一部の天体についてトピック的に学ぶ。 ごくありふれた恒星の一つである太陽の構造や特徴を概観し，遠くにある恒星を考える基礎について学ぶ。 	授業への参加状況 出席状況 授業に取り組む態度 発問に対する解答 考えているか 論理的か
5		3 太陽系の天体 4 太陽 中間考査		
6	第2章 恒星の性質と進化	1 恒星の光 2 恒星の性質と HR 図	<ul style="list-style-type: none"> 恒星から届く光を見ることで何が判るのかを学ぶ。 HR 図と，HR 図から判る恒星の性質について，シミュレーションを行いながら考える。 恒星のエネルギー源と恒星の進化について考える。 太陽系に属する銀河（銀河系）について，構造や大きさなどを学ぶ。 特殊な銀河について学び，宇宙における銀河の分布を考える。 宇宙の膨張と火の玉宇宙論，宇宙の創生からビッグバン等，現代宇宙論について学ぶ。 	提出物や作業など 完成されているか 丁寧か 定期考査
7	第3章 銀河系と宇宙 1 銀河系 2 銀河と宇宙 3 膨張する宇宙 期末考査			
9	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	1 大気圏 2 雨と雲 3 地球のエネルギー収支	<ul style="list-style-type: none"> 大気組成や大気圏の構造について学ぶ。 大気の断熱変化や安定性について学ぶ。 マクロ的視点に立ち，エネルギー収支や大気の動きについて考察する。 風の吹き方について，力学的手法を用いて考察する。 マクロ的視点から大気の循環について考察する。 	授業への参加状況 出席状況 授業に取り組む態度 発問に対する解答 考えているか 論理的か
10		第2章 大気の運動 1 風 2 大気の大循環と世界の気象 3 偏西風帯に位置する日本の四季		
10	第3章 海洋と海水の運動	1 海洋 2 海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> 偏西風帯に位置し，南に海洋，北に大陸という特殊な位置にある日本の天気の特徴について，実際の状況（地上天気図）を用いて考察する。 海水の組成や海洋の温度分布などについて学ぶ。 波浪や海流など，海水の運動について学ぶ。 大気と海洋との相互作用から，地球規模の気候変動を探る。 水や二酸化炭素の循環について考える。 オゾンホールや温室効果ガスなど，人間の社会活動の結果もたらされた環境問題について考える。 	提出物や作業など 完成されているか 丁寧か 定期考査
11	第4章 気候変動と地球環境 1 気候変動 2 物質の循環 3 人間の活動と地球環境 中間考査			
11	第1部 個体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	1 地球の観測 2 重力で探る地球の内部 3 地震波で探る地球の内部 4 熱で探る地球の内部 5 地磁気で探る地球の内部	<ul style="list-style-type: none"> 地球の層構造について、『地学基礎』の既習項目を確認する。 重力およびジオイドについて学ぶ。 地震波の性質および地震波を用いて地球内部構造を探る方法について学ぶ。 地球の内部からもたらされる熱について考える。 地磁気についての基礎項目を学び，地磁気反転史や岩石残留磁気等について考える。 プレートおよびプレートの境界問題について学ぶ。 	授業への参加状況 出席状況 授業に取り組む態度 発問に対する解答 考えているか 論理的か
12		第2章 プレートテクトニクス 1 地球表面を覆うプレート 2 プレートテクトニクスの成立 3 プレートテクトニクスとマントルの動き		
12	第3章 地球の活動	1 地震 2 地殻変動 3 火山と火成活動 4 造山帯と変成作用 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 大陸移動説や海洋底拡大説を経てプレートテクトニクスという考え方が定着するまでの事柄を学ぶ。 マントル内でのプレートの運動から，ブルームという概念が生まれてきたことを学ぶ。 地震の基本的事項について学ぶ。 地殻の上下方向および水平方向における変動について学ぶ。 マグマの発生や火山活動，火成岩について学ぶ。 変成作用および変成帯について学ぶ。 	

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	第2部 地球の歴史			
	第1章 地表の変化と地層	1 地表の変化と堆積物 2 地層の連続とその分布	・ 侵食作用や堆積作用など地表の変化について考え、形成された地層構造や地形などの成り立ちを考察する。 ・ 地層の広がりを3次元として捉え、表現する方法を学ぶ。	授業への参加状況 出席状況 授業に取り組む態度
	第2章 地球・生命・環境の歴史	3 地質時代の組み立て 1 地殻の進化 2 生命の進化 3 長期の気候変動	・ 地質時代を地層から考える手法を学ぶ。 ・ 地質時代における地殻の変遷について学ぶ。 ・ 地質時代における古生物の進化や絶滅について学ぶ。 ・ 地質時代における気候変動の調べ方と、その周期的性質を学ぶ。	発問に対する解答 考えているか 論理的か
	第3章 私たちの日本列島	1 日本列島 2 日本列島の歴史 学年末考査	・ 日本列島におけるテクトニクス問題や地質構造について学ぶ。 ・ 日本列島の形成史について、地質構造から探る。	提出物や作業など 完成されているか 丁寧か
				定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	地学的な事物や現象に関心や興味をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的思考態度を身につけている。
思考・判断・表現	地学的な事物や現象の中に問題を見だし、観察を行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析をし、総合的に考察して問題を解決し、この科学的に判断した考察を言語活動を通じて表現することができる。
観察・実験の技能	地学的な事物や現象に関する観察の技能を習得するとともに、それらを科学的に探求する方法を身につけ、観察の過程や結果およびそこから導き出した自分の考えを的確に表現することができる。
知識・理解	観察などを通して地学的な事物や現象に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身につけている。

4. 評価の方法

上記3『評価の観点』に示した、『関心・意欲・態度』、『思考・判断・表現』、『観察・実験の技能』、『知識・理解』の4観点に基づき総合的に評価をする。
5回の定期テスト点数を基準とし、授業への参加状況、取り組む姿勢、提出物の内容を含めた状況等を総合的に評価し点数化する。

5. 担当者からのメッセージ

- ・ 高校の地学では、**地球と宇宙**を扱います。太古の我々の祖先から、地球の上で生活をし、地球が育んできた恵みを享受し、また利用し生きてきました。特に現代社会において、地球から取り出した恩恵＝資源の利用する量は膨大なものとなっています。
- ・ 一方では、地震や火山噴火、気象災害など、我々の生活にとって非常に不都合な地球事象にもたびたび遭遇し、いかにこれら災害から逃れるかという問題も重要視されてきています。
- ・ また、先人達は宇宙に思いを馳せ、神話や天体の運動など、その時々で科学界をリードしてきました。2015年にニュートリノ振動の発見でノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章氏や、2008年に小林益川理論とCP対称性の破れの貢献で受賞した南部陽一郎、小林誠、益川敏英の3氏、2002年に素粒子ニュートリノ天文学で受賞した小柴昌俊氏も現代宇宙論と深く関わっています。
- ・ 自然は、何もしゃべりません。我々が**関心を持って注意深く**ならなければ、答えは見つかりません。前述の小柴氏は、『何らかの事象について成果をあげるには、**準備をしていなければいけない**』とおっしゃっています。ある事象を考えるには、それまでの経験や知識、理論、実験実習、シミュレーション、関係のないように見えるけれど人とのつながりなどの中から産まれるということなのでしょう。
- ・ 2学年で学んだ地学基礎は、内容や考査が難しいと不評？でした。そのような中で、あえて自分の進路や興味から地学を選択した諸君に敬意を払います。地学基礎の授業でも話した通り、科学を学ぶのですから、**対策プリントの丸暗記などという勉強方法はあり得ません。観測結果からなぜ、そのようになるのかを考えることが大切なのです。**
- ・ 地学の扱う**大きさや時間のスケール**は、すべての教科・科目の中でもその大きさは**桁違いに大きい**です。当然科学を扱うので**実物を見ることは重要**なのですが、なかなか実現できない問題でもあります。そこで、これを補うために写真を多用します。すなわち『百聞は一見に如かず』です。**教科書や資料集は毎時間携行**してください。